

○古墳って何？

地域の権力者だった人のために作られたお墓です。多くは石を積み上げて部屋（石室）を作り、その周りに土を盛っています。

真上から見ると円形や四角形、しゃもじのような形などいろいろな形があります。古墳は全国で15万基以上作られていて、その数はコンビニエンスストアよりも多いのです！宮若市だけでも600基以上の古墳があると分かっています。

①龍（青龍）

馬に似た四足の怪獣。口から長い舌を出し、爪もするどい！尾を逆立てている様子だね。

②翳くさしば

左右に一つずつ描かれているよ。団扇のようなもので、高貴な人に差しかけるために使われていたよ。

③馬を連れている人

帽子をかぶり、大きく膨らんだズボンを身に着け、先のとがった靴を履いているよ。

○古墳の中はどうなってるの？

竹原古墳の中は「横穴式石室」という作りになっていて、前室と後室という2つの部屋があります。

後室からは古墳の主に捧げられたと考えられる

ガラス製の玉や馬につける装具（馬具）などがみつかります。また、前室と後室の間の石（袖石）左右2箇所と、一番奥の大きな石（奥壁）には赤と黒の2色で絵が描かれています。このように、石室内に絵具（顔料）などで絵や文様を描いている古墳を「装飾古墳」といいます。

○いつ・どこで作られたの？

古墳が作られた時代を古墳時代（1700年～1400年前）といます。竹原古墳は古墳時代の後半、今から約1500年前に作られました。作られたのは丘陵の先端で、古墳の入口から外を見渡すと水田が広がっています。これらの水田耕作を取りまとめた人物が古墳の主なのでしょうか。

④舟

三日月の形の船が2艘描かれているよ。馬を舟に乗せているのかな。

⑤連続三角文

赤と黒の三角形が縦に並んで旗のように見えるよ。

⑥波形文

大海原の波のように見えるね。舟が海を渡る様子かもしれないね。

○竹原古墳のここがすごい！

竹原古墳の最大の特徴は、壁画の物語性にあります。壁画に「翳」という高貴な人に差しかけるための扇のようなものや波の形、人や舟・馬など、約10種類の図文が描かれています。

壁画の意味について、多くの人が考えをめぐらせていますが、中国の神話や伝承を描いたという説や、死後の世界を描いたという説などがあり、まだ結論は出ていません。皆さんも壁画を目の前にして、古代の人が壁画に込めた思いを想像してみませんか。

おくへき奥壁をのぞいてみよう！

